

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 浪速区

学 校 名 難波元町小学校

学校長名 剣持 明広

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・難波元町小学校では、第6学年 28 名

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率が全国平均を0.2ポイント、大阪市平均を1ポイント上回った。算数では全国平均を3.5ポイント、大阪市平均を4ポイント上回っていた。領域別でみると、国語では「言葉の特徴や使い方に関する事項」および「情報の扱い方に関する事項」で大阪市・全国平均を上回った。一方、「話すこと・聞くこと」は全国平均より2.4ポイント、「書くこと」で1.7ポイント、「読むこと」で2.2ポイントそれぞれ下回った。算数では、全ての領域で大阪市・全国平均を上回った。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「結果の概要」の通り、わずかではあるが全国平均を上回る結果であった。漢字先取学習や、漢検に取り組んだ成果が表れている。しかしながら「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」は全国平均をわずかに下回った。従来から取り組んでいる「みんなの前で話す」「聞いたことをメモする」こと、また、今年度から国語科を研究教科として位置づけ「書く力を高める授業づくり」を推進していくことで改善していきたい。

〔算数〕平均正答率は大阪市平均、および全国平均を上回った。昨年度まで「基礎基本の定着と、数学的な考え方を高める」をテーマに研究をすすめてきたこと、また、算数科の授業で習熟度別少人数指導やティームティーチングを行ってきたことの成果が表れていると考える。さらに「脳トレ」の百マス計算も定着し、計算力のアップや集中力の高まりも見えてきている。

質問紙調査より

「自分にはよいところがある」と肯定的な回答している児童は82.6ポイントだった。中でも、最も肯定的な回答が全国・大阪府平均を約16ポイント上回った。これまでたてわり活動や表現する機会を大切にしてきたことや全学年で取り組んでいる「脳トレ」等で各自が記録を伸ばすなど、自己肯定感を高める結果につながっていると考える。また、「人の役に立つ人間になりたい」と肯定的な回答をした児童が100%であった。引き続き学ぶことの意味を肯定的にとらえられる児童の育成につとめたい。「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に肯定的な回答した児童が71.4ポイントと大阪府平均、全国平均をわずかに下回る結果となった。様々な学習場面において、「主体的・対話的で、深い学び」へとつながる授業を行うことで改善につなげたい。

今後の取組(アクションプラン)

これまで4年間研究教科として位置付けてきた算数科においては、一定の成果が見られた。引き続き低学年からの少人数指導やTT指導の中にも対話的な学習活動を意識して取り入れるなど、「論理的思考」の育成に努めていく。学生ボランティアを増員し、常に寄り添って問題に対する考えを伝えあうなど、児童一人一人が課題に対してより能動的に深く考えることができる環境を整える。国語科については今年度より研究教科として位置づけ取り組んでいく。「書く力」を高める授業づくりを通して学習したことを本校の特色ある学校行事や普段の生活の中で生かしていこうとする意識を高めたい。また、現在全校児童で進めている「脳トレ」を引き続き実施・検証しながら、児童一人一人が「知・徳・体」のバランスのとれた「生きた学力」を向上させる取り組みを進めていく。今後も児童の学びに向かう姿勢や態度を育んでいく。